

# ゼオンノース

## 会社紹介

### 【事業内容】

各種設備の請負・設計・施工・管理、工業用資材・機材の販売、石油製品の仕入・販売、環境計量証明・作業環境測定・各種分析

1972 年設立。ゼオングループの事業活動に伴うプラントエンジニアリングを起点に、グループ外でも自社の特長を活かした各種工事を行っています。

2003 年 7 月には、関連会社の大三興産株式会社および日本ゼオン子会社のゼオン高岡分析センター株式会社と合併。2008 年に川崎営業所（神奈川県）、2011 年に水島営業所（岡山県）、2013 年に徳山営業所（山口県）を開設し、拠点拡大によるエンジニアリング事業発展に注力しています。

### 【人員数】

2019 年 3 月末人員数：229 名（男性 186 名、女性 43 名）

2018 年度採用実績：19 名（男性 17 名、女性 2 名）



ゼオンノース第 5 工場  
(2016 年 1 月竣工)

### サービスの例



機器据付工事



ビルメンテナンス

## 会社方針（トップメッセージ）

2019 年度は SZ-20 PhaseⅢの 3 年目です。2020 年度目標を確実に達成するためには、本年度の各課題を確実に実行し、前倒しで目標達成する気持ちがなければなりません。社員全員が一つになり信頼と対話のもと、方針と重点課題の達成に向け邁進します。

### 1. SZ-20 のありたい姿

CSR を徹底し、安全第一を貫き、エンジニアリング・商事・環境分析事業において、社会に貢献する

### 2. 2019 年度方針と重点課題

『2020 年度のありたい姿実現に向け、人の和・チーム力を発揮し、2019 年度目標を達成』

### 3. 重点課題

#### 1) 営業力の強化により年度目標を達成

- ・ 人間力を向上しお客様との関係を更に強化し、お客様の真の要求を把握する。
- ・ キーマンとの接触を行い、お客様の变化・兆候を読む。

#### 2) リスクマネジメントを徹底

- ・ 顕在化したリスクを決して悲観的、後ろ向きに考え対応するのではなく、発展的に再発防止する。
- ・ 潜在リスクを今一度考え、顕在化しないよう未然防止をはかる。

#### 2) 安全管理体制の改善と労災の撲滅

- ・ だろろ・はずの思い込みを捨て、仲間である協力会社と一緒に、三現主義の基本に立ちパトロール・作業前 KY（危険予知）の実施と不安全状態を迅速な FP（フルプルーフ）化により、安全状態を担保する。

#### 3) 生産・品質管理の改善によるクレームの撲滅

- ・ プロセス管理によりモノづくり・商品・サービスの向上をはかる。



澤 宗樹社長

- ・計画的な行動の実践により、コスト管理、業務推進を行う。

4) 教育計画の確実な実行

- ・いつの時代でも教育は不変。各現場、やり方は違えども、現場第一線とコミュニケーションをはかる。

上記課題を確実に実行展開すべく、各事業部の強みを更に伸ばし且つ弱みを一步一步克服し、当社が地域・社会から信頼・信用され、どこよりも必要とされる会社になれるよう邁進します。その為に、全社員が健康でやりがいをもって働ける会社づくりを実現します。

**安全への取り組み**

**【方針】**

エンジニアリング事業を営む会社として、特に工事現場における安全管理体制の構築・改善に配慮し、安全管理体制を向上させる。

**【具体的な取り組み】**

- ・作業前 K Y と現場パトロールの強化による事故・労災の未然防止
- ・協力会社を含めた安全第一主義と実行
- ・ヒヤリハット提案の活性化

**ゼオンノース安全大会の開催（毎年 5 月）**

協力会社との連携を深め、安全意識の高揚と安全知識の普及・情報共有を図ることを目的として、協力会社の代表が一堂に集います。現場で働く全員が高い安全意識を持って、常に安全が最優先される風土の構築を目指し、協力会社の皆さんと協力して取り組んでいきます。



ゼオンノース安全大会

**環境負荷削減の取り組み**

**【方針】**

環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷低減のために省エネルギー・省資源化を推進します。

**【具体的な取り組み】**

- ・事業所の埋立産業廃棄物排出量ゼロ
- ・環境負荷低減商品の販売拡大（屋根用ポリウレタコーティング剤「エココート」）



屋根用ポリウレタコーティング剤「エココート」

**環境関連データ**（「0」は 0.5 未満、「0.0」は 0.05 未満を示す）

ゼオンノース（株）		2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	0	0	0	0	0
	使用量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	排出量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	17	14	19	17	24
	埋立処分量（トン）	4.2	2.5	0.5	0.2	0.1

水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m <sup>3</sup> ）	2.0	1.5	1.6	2.3	2.3
CO <sub>2</sub> 排出量（トン）	161	159	273	320	363
エネルギー使用量（原油換算、kL）	92	103	119	133	155
消費電力量（千 kWh）	384	366	426	458	507

## 社員とともに

### 【方針】

教育体制の整備改善による企業体質の改善

### 【具体的な取り組み】

若手保全マンの教育施設「ZN 教育センター」を開設し、技術力アップとプロとしての意識改革を図っています。

- ・ベテラン保全マンを講師とする座学と実習教育を組み合わせたカリキュラム
- ・2018 年度は 機械基礎教育（4 名）、「機械応用教育（4 名）」、電気計装教育（4 名）を実施



ZN 教育センター（機械応用教育）

## 地域との共生

### 【方針】

地域経済社会の活性化に貢献

### 【具体的な取り組み】

#### 清掃ボランティア活動

社員とご家族に参加を募り、地元の海岸クリーン作戦に協力しています。

- ・氷見海岸清掃（約 39 名参加）
- ・国分海岸清掃（約 44 名参加）



氷見海岸清掃